

報道各社とのティー・ミーティング(懇談会)が開催されました(H28. 3. 22)

第1回定例会中の平成28年3月22日(火)に、遠藤議長と報道各社とのティー・ミーティングが開催されました。

ティー・ミーティングに先立ち遠藤議長から、北海道新幹線の開業、道議会政策立案機能充実・強化対策、海外との交流についてコメントがありました。

その後、報道各社と議長との間で、道議会と道内大学との連携の方向性や効果、韓国済州特別自治道における観光振興の状況、国勢調査の結果と道議会議員の選挙区の考え方等について質疑応答がなされました。

なお、議長コメントの概要は次のとおりです。

【北海道新幹線の開業について】

3月26日に北海道新幹線が開業しますが、昭和39年開業の東海道新幹線が東京オリンピックを通して日本の復興を世界に示すことができたという事を考えますと、北海道に与える影響は計り知れず、北海道の歴史を変える事業と考えております。私も、25日の前夜祭、26日の出発式など様々なイベントに参加し、開業ムードを盛り上げますが、報道関係の皆様にも道民や国民へイベント等を広く周知していただきたいと思っております。

【道議会政策立案機能充実・強化対策等について】

私が議長になって議会活動の中で一番力を入れたと思っているのが、議会議論の質の向上であり、それに向けて、研究・研修体制の充実、道内大学との連携、事務局機能の強化の3つを柱とした対策を立てて、現在、具体的な取り組みの検討を進めているところであります。

【海外との交流について】

韓国では、済州特別自治道との国際友好協定の締結に立ち会いました。済州特別自治道は、国から様々な権限を移譲されていますが、特に、韓国のハワイと言われるほど観光産業に力を入れており、北海道の模範となるものと考えております。また、元 喜龍(ウォン・ヒリョン)知事は、将来の大統領候補と言われている方で、また、大変な親日家でもあり、来道していただけると、北海道との交流も一段と深まっていくものと考えております。

シンガポールでは、北海道ASEAN事務所開設セレモニーに参加しました。ASEANの中心国であるシンガポールでの事務所開設により、広域的に経済交流を行っていきたいと考えておりますが、シンガポール側は地方企業への投資の拡大、特に、観光・介護に注目しておりました。

